

2026 年度第一次教育学研究科 入学試験問題(直接解答)

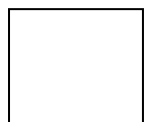
博士課程前期課程	共生教育研究領域	試験科目 専門科目	受験番号 番
----------	----------	--------------	-----------

解答記入不可

↑

問題 1

初等中等教育の学習者用デジタル教科書の現状について説明し、その活用の効果と問題点について論ぜよ。



3枚中

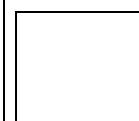
1

2026 年度第一次教育学研究科 入学試験問題(直接解答)

博士課程前期課程	共生教育研究領域	試験科目 専門科目	受験番号 番
----------	----------	--------------	-----------

解答記入不可
↑

問題 2
2006 年の教育基本法改正のポイントを説明せよ。



3枚中

2

2026 年度第一次教育学研究科 入学試験問題(直接解答)

博士課程前期課程	共生教育研究領域	試験科目 専門科目	受験番号 番
----------	----------	--------------	-----------

解答記入不可
↑

問題3

青年期のアイデンティティ発達に友人関係が与える影響について論ぜよ。



3枚中

3

2026 年度 第一次 教育学研究科入学試験問題

博士課程前期課程／共生教育研究領域／専門科目（解答例）

解答例

[問題 1]

初等中等教育における学習者用デジタル教科書について、制度が 2019 年に施行され、英語科をはじめとして算数科・数学科などの他の教科にも普及している等の現状を具体的に説明する。

児童生徒の理解促進や学習意欲の向上、動画や音声などの多様な表現が可能で個別学習にも対応できる等の効果と通信環境や端末整備の地域差、教員の ICT 活用力不足、視力低下や費用負担など健康・経済面の懸念等の問題点をについて事例などを用いながら論じること。

[問題 2]

教育基本法が改正される前と、改正された後の条文を比較し、改正されてどのようなことが加わったのかを述べている。

なぜそのように改正されたのかという理由、改正の背景を、日本社会の国家、社会、教育をとりまく環境の変化に関連付けて述べている。

[問題 3]

青年期には、友人関係が児童期の仲間関係から、自己開示や価値観の共有を特徴とする親密で選択的な関係へと質的に変化し、家族中心のつながりから離れていく「心理的離乳」が進むことを説明する。また Erikson, E.H. が示すように、青年がこの時期に自分の生き方や価値観を探索し、自我同一性の確立を課題とする中で、友人との対話や違いの経験、承認のやり取りがその探索を支える契機となることを述べる。

友人関係が青年の自己理解の深化や、自分の在り方へのコミットメントに強い影響を及ぼす発達の基盤であることを示す。発展的な視点として、現代青年の友人関係の特徴を踏まえてアイデンティティ発達に与える影響が論じる。

2026 年度 第一次 教育学研究科入学試験問題

博士課程前期課程／共生教育研究領域／専門科目（出題意図）

出題意図

[問題 1]

初等中等教育における指導の場で必須の学習者用デジタル教科書の現状を理解しているか、その効果と問題点を論理的に表現できるかを問う。

[問題 2]

教育基本法は、文字通り教育の基本であり、日本という国家や社会のなかで、教育がどのようにあるべきかという理念が、明確に示されている。学校教育だけに止まらず、家庭教育や生涯学習など教育の様々な機関や場について規定している。

教育基本法は、制定から一度だけ改正されているが、改正された内容と、その理由を理解することは、教育について研究をするうえで重要であり、それを試している。

[問題 3]

青年期の友人関係は、家族中心の関係から離れ、対等で選択的なつながりへと発達的に変化する。こうした友人関係は、青年が自分の価値観や生き方を模索し、自己を形成していくうえで重要な役割を担う。友人関係の特徴と、それがアイデンティティ発達にどのように寄与するかについて、発達心理学の理論をベースとして理解しているかを問う。